

羅城門らしやうもんの旧蹟きうせきは朱雀通しゆじやく〔今の千本通なり〕四塚しづかにあり、此門このかどは桓武天皇くわんむ平安城造營の時初て建給ひけり、大内裏おほうちりの

南面にして外郭の総門なり。〔楼上に毘沙門天を安置す、これ伝教大師でんけうの作なり、今東寺の観音堂にあり〕

梅城録に曰　都良香羅城門を過る時、氣霽風櫛こ新柳髮にんりゆうはつと詠じたりければ、楼上に声ありて、氷消浪洗こほりなみ旧苔鬢きうたいはつとつ

けたり。これを菅相丞くわんしやうじやうの御前にて詠じたりければ、自歎し給ひて下の句は鬼詞なりと仰られける。